２０１６年６月２９日
東京電力ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ株式会社
福　島　復　興　本　社

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

原子力損害賠償の進捗状況　・・・・・・・・・・・　Ｐ１～３
復興推進活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ４～６
除染推進活動状況　・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ７～９

原子力損害賠償の進捗状況について

＜原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績＞

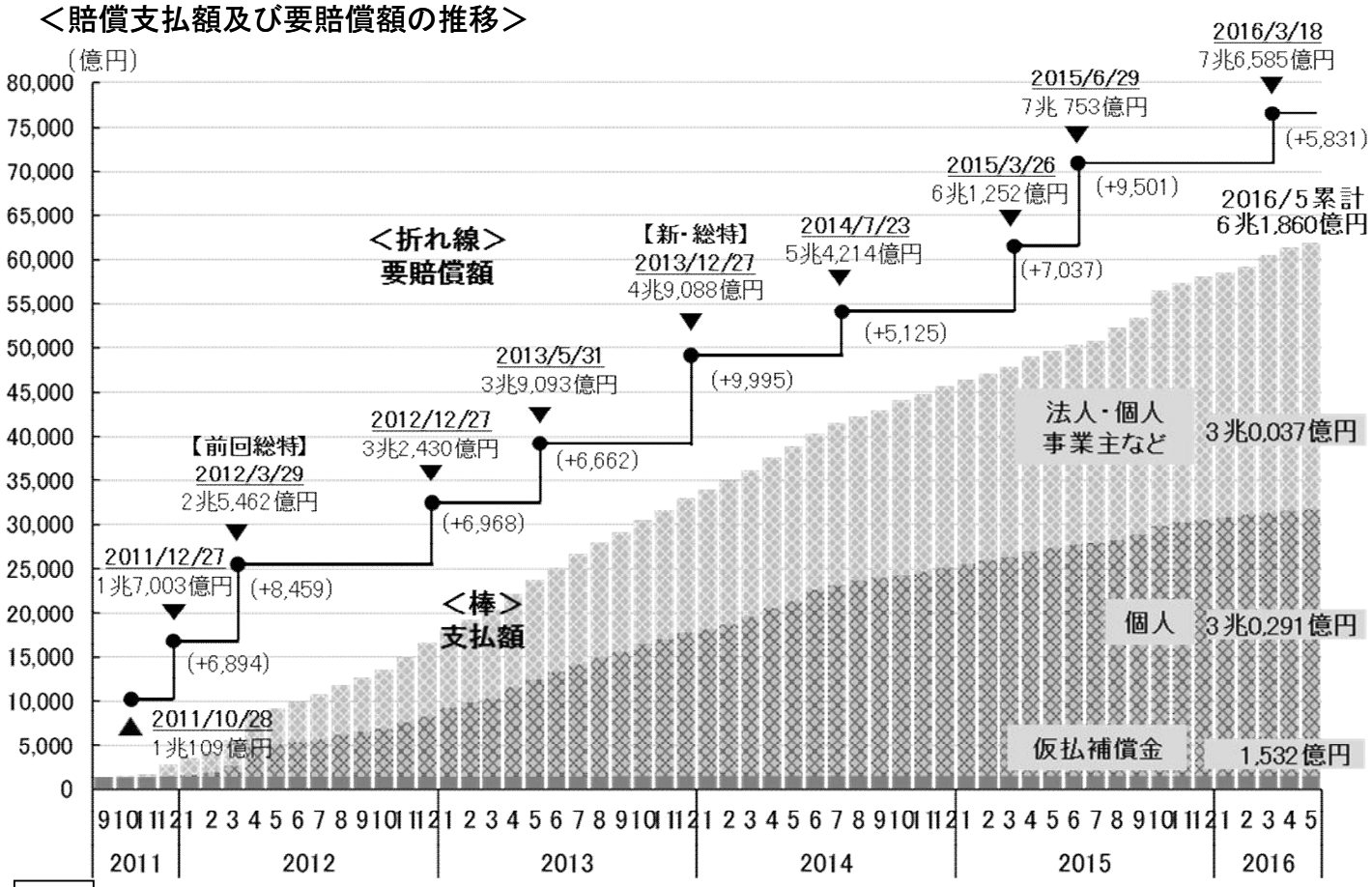
2016年6月17日現在

	個人　※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数（延べ件数）	約2,222,000件	約410,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数（延べ件数）	約2,111,000件	約348,000件
本賠償の金額　※2	約3兆433億円	約3兆203億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額　※2	約6兆636億円①	
仮払補償金	約1,532億円②	
お支払い総額	約6兆2,167億円①＋②	

※1　個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2　仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

＜賠償支払額及び要賠償額の推移＞



＜賠償項目別の合意金額の状況＞

	要賠償額【新・総特】 （3/31変更認定）	合意いただけた実績※1 （2016年5月末現在）
Ⅰ．個人の方に係る項目	**21,203億円**	**18,875億円**
検査費用等	3,235億円	2,430億円
精神的損害	11,441億円	10,294億円
自主的避難等	3,681億円	3,627億円
就労不能損害	2,844億円	2,523億円
Ⅱ．法人・個人事業主の方に係る項目	**25,631億円**	**24,185億円**
営業損害	4,689億円	4,691億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	15,864億円	15,407億円
一括賠償（営業損害、風評被害）	2,383億円	1,227億円
間接損害等その他	2,693億円	2,859億円
Ⅲ．共通・その他	**17,577億円**	**14,148億円**
財物価値の喪失又は減少等	12,612億円	11,874億円
住居確保損害	4,715億円	2,024億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
Ⅳ．除染等※2	**12,173億円**	**4,701億円**
合計	**76,585億円**	**61,911億円**

※1　振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。　【Ｂ／Ａ　８３％】
※2　閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

＜ご案内を開始している主な賠償項目＞

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月：個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害　等	9月：法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害　等
2012年	2月：自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月：建物の修復費用等に係る賠償	2月：自動車に対する賠償 12月：償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月：田畑に係る賠償	3月：宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月：田畑に係る賠償
2014年	1月：精神的損害（要介護者さま等への増額）に係る賠償 3月：移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月：住居確保に係る費用の賠償 7月：墓石等の修理に係る賠償 9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月：宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月：家財の個別賠償 3月：福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月：墓石等の移転に係る賠償 6月：避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月：避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月：新たな営業損害賠償等
2016年	2月：住居確保費用（持ち家）の賠償における賠償上限金額の見直し	

【ADRの対応状況】

2016年6月17日現在

申立件数		20,196件
解決件数		17,566件
	全部和解件数	14,601件
	取下げ件数	1,595件
	打切り件数	1,369件
	却下	1件
現在進行中の件数		2,630件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは19,924件（6月17日現在）
※当社に送達された件数は月平均で約280件（平成28年度）
※現在進行中の件数のうち、192件は一部和解が成立、8件は仮払和解が成立している。
※和解金額は約2,422億円

復興推進活動実績

■ **現在までの主な取り組み**

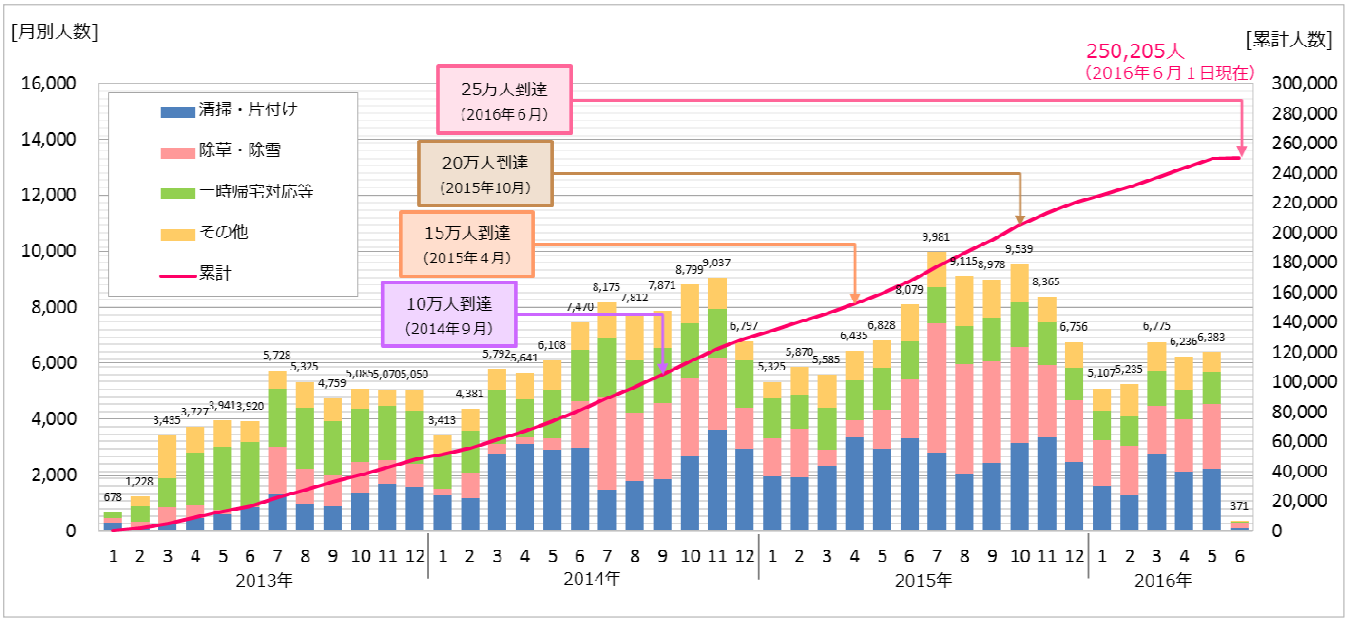
- ５月は、清掃・片付けや除草活動を中心に実施。また、季節的な取り組みとして、「果樹園の除草」を実施。
- ５月の活動実績は延べ6,383人。

［５月の活動実績］

活動内容	延べ人数
清掃・片付け（屋内清掃・大型家財搬出等）	2,210人
除草（町道・住宅進入路・公共施設等）	2,333人
一時帰宅対応等	1,151人
その他（イベント運営補助・介護研修会 他）	689人
５月の活動実績合計	6,383人
復興本社設立（2013年１月）からの累計	249,834人

復興推進活動への参加人数が25万人に到達

- 2016年６月１日に、福島復興本社設立（2013年１月）からの復興推進活動参加人数が延べ**25万人に到達**。



- 今後も福島復興への責任を果たすため、社員一人ひとりが気持ちを込めて復興の加速化に向けた活動を継続していく。

果樹園の除草

実施時期	2016年５月24日～25日（２日間）
実施場所	会津美里町宮里応急仮設住宅果樹園（楢葉町民ご避難先）
実施人数	社員 延べ16人
実施内容	楢葉町会津美里町出張所よりご要請いただき、仮設住宅の住民にて育成している、柿，柚子，りんご等の収穫に向けた除草（果樹園のお手入れ）を実施。

除草前の様子［2016年５月24日撮影］

除草後の様子［2016年５月25日撮影］

除草の様子［2016年５月25日撮影］

農林系廃棄物の搬出ならびに片付け

実施時期	2016年６月８日
実施場所	川俣町（山木屋地区）
実施人数	社員 21人
実施内容	川俣町よりご要請いただき、農林業の再開に向けた農林系廃棄物の搬出ならびに片付け（屋内からの搬出、運搬ならびにフレコンバックへの詰め込み等）をご被災者さまと協働で実施。

倉庫の搬出・片付け前の様子［2016年６月８日撮影］

倉庫の搬出・片付け後の様子［2016年６月８日撮影］

倉庫の搬出・片付けの様子［2016年６月８日撮影］

倉庫の搬出・片付けの様子［2016年６月８日撮影］

納屋の搬出・片付けの様子［2016年６月８日撮影］

除染等推進活動実績

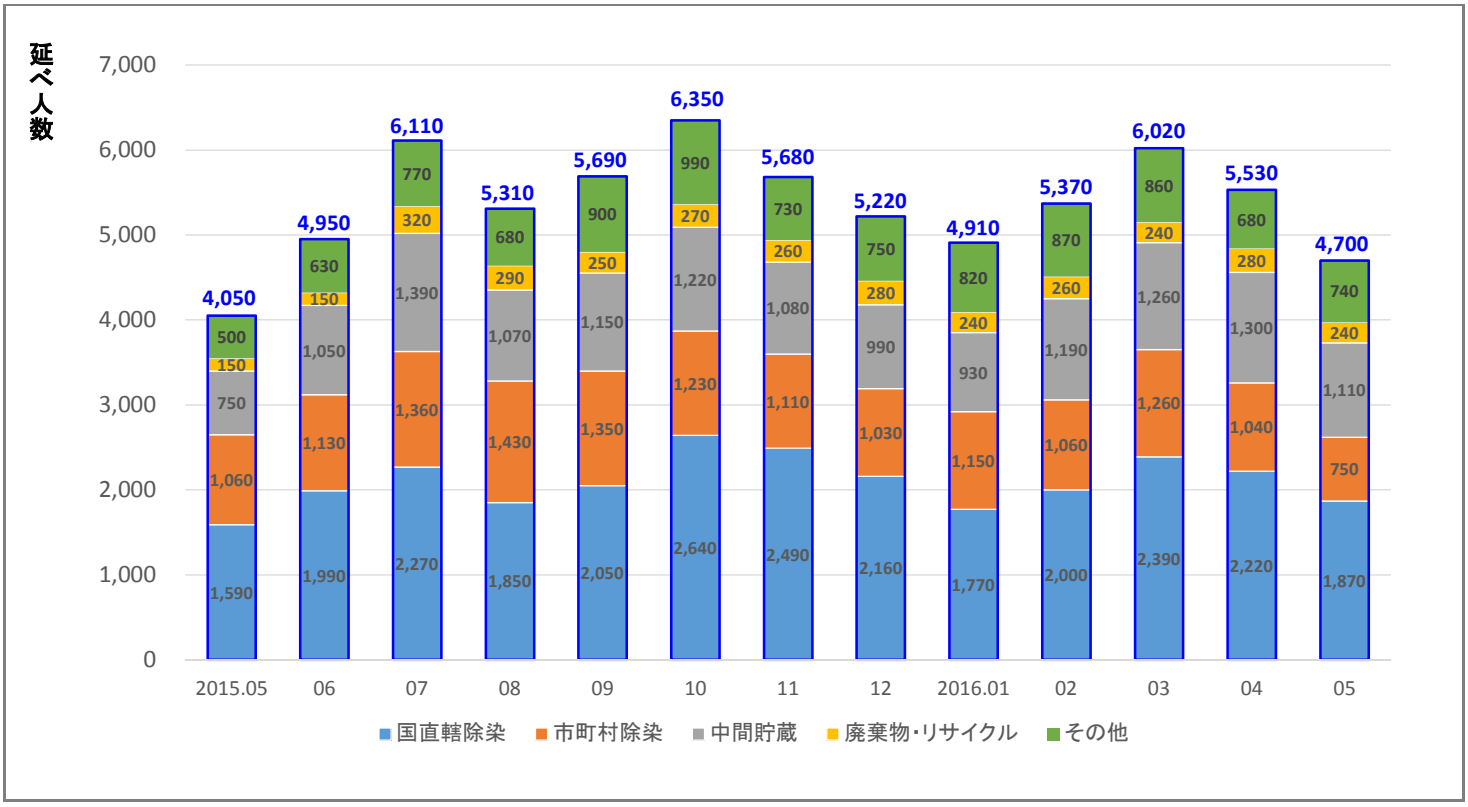
■ 国・市町村等が実施する除染、中間貯蔵、廃棄物・リサイクルの業務に人的・技術的な対応を実施。

■ ５月の活動実績は延べ4,700人。

［５月の活動実績］

活動内容	延べ人数
除染特別地域（国直轄除染）における対応	1,870人
除染実施区域（市町村除染）における対応	750人
中間貯蔵への対応	1,100人
廃棄物・リサイクルへの対応	240人
その他	740人
５月の活動実績	4,700人
復興本社設立(2013年１月)からの累計	169,670人

[月別･活動内容別実績の推移] 2015年5月～2016年5月



※グラフの記載の人数は、四捨五入の関係で合計値が一致しない。

葛尾村・川内村・南相馬市　帰還に向けた施策への対応

実施時期	2014年10月～
実施場所	葛尾村、川内村、南相馬市
実施人数	社員 延べ3,833人(2016年５月末現在)
実施内容	今月、避難指示が解除された葛尾村※・川内村、来月解除予定の南相馬市※において、環境省からの要請により、現地調査結果に基づくフォローアップ除染手法に関する提案や、施工中のモニタリングを実施。 ※帰還困難区域を除く。

葛尾村　モニタリング状況（現地調査）

葛尾村　モニタリング状況（施工中）

南相馬市　モニタリング状況（現地調査）

川内村　モニタリング状況（施工中）

個人線量計およびGPSを活用した「個人線量マップ作製ソフト」の開発

～本日(6月29日)より当社ホームページにて公開～

開発期間

- 2016年4月～6月

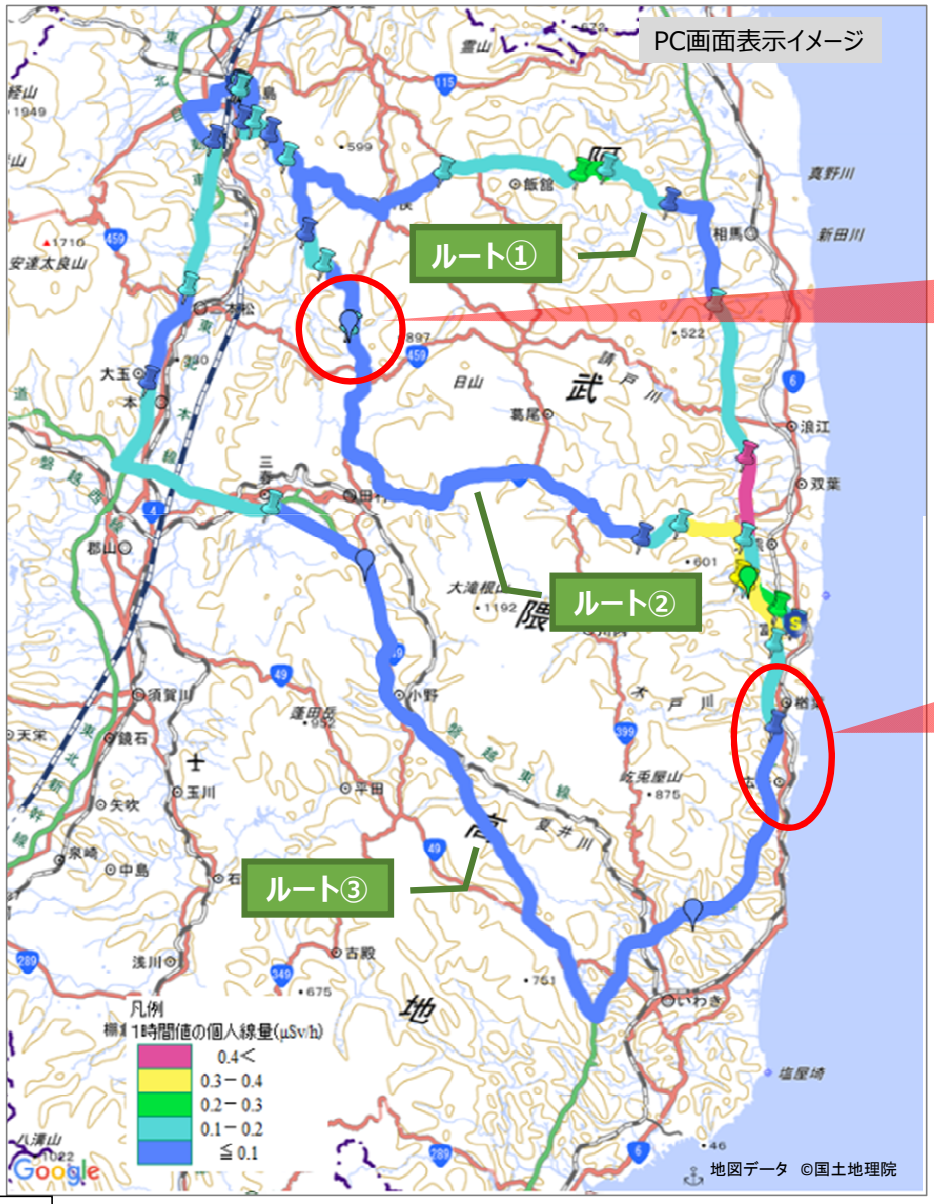
概　要

- 空間線量率ではなく、「個人線量ベース」のマップ作製を容易に可能*1 とするソフトウェアを独自開発
  *1 当ソフトのご利用には、汎用品の個人線量計*2 と GPS端末が必要となります
  *2 高精度な線量マップ作成には、高頻度(1分単位)で計測可能な個人線量計を推奨(富士電機製DOSEe-nano等)
- 以下機能を備えたソフトウェアの開発は国内初（当社調べ）
  - ✓ 個人線量を行動に沿ってマッピング（線量レベルを色で表示）
  - ✓ 移動時あるいは滞在箇所を自動判別し、その個人線量を地図上に表示
- Googleマップ上にも視覚的に表示可能

活用・展開

- 本日（6/29）より当社ホームページにて公開
- 広くご活用いただけるよう、国・自治体・学術機関等へのご紹介を展開中
- 当ソフトを活用した帰還・復興への取り組み等に、当社としてサポートを実施予定
- ご活用例：「ご自宅や通学路等の個人線量の把握」
  「複数の移動経路ごとの個人線量の比較」 等

個人線量マップ（復興本社から福島市内までの代表的な３ルートの事例）



『滞在時』における個人線量の可視化

- ➢ 滞在した場所を自動判別してタグで表示
- ➢ タグの色で滞在時の個人線量（１時間値）が直感的に理解できる

『移動時』における個人線量の可視化

- ➢ 個人線量を移動経路上に色で示すことにより、移動時の個人線量（１時間値）が直感的に理解できる
- ➢ 移動開始～移動終了までの所要時間や個人線量の積算値も表示可能

7月6日・7日に福島市で開催される研究発表会で展示予定（主催：環境放射能除染学会　場所：とうほう・みんなの文化センター）